

平成30年度

外部評価報告書

平成31年3月

八街市行財政調査会

1 外部評価の目的

八街市が実施する行政評価において、行政内部による事務事業評価に外部の視点を加え、評価における客観性や透明性を確保し、事務事業の改善を推進することを目的に外部評価を実施しました。

2 外部評価員の構成

八街市行財政調査会の職務に基づく外部評価であり、八街市行財政調査会委員名簿は以下のとおりです。

八街市行財政調査会委員名簿

役職名	氏名	所属等
会長	関谷 昇	学識経験者（千葉大学教授）
副会長	京増 良男	学識経験者（元八街市監査委員）
委員	林田 博之	学識経験者（元富里市職員）
委員	治部 登美子	市民代表（市民団体共同代表）
委員	玉川 寛治	公募委員
委員	嶋田 文博	学識経験者（元高等学校教諭）

3 外部評価の流れ

（1）評価対象事務事業の選定

行政内部では、平成29年度決算のうち、人件費等を除いた381の事務事業費について、自己評価を行いました。

今年度の外部評価では「第2次八街市行財政改革プラン」の実施項目（19項目）からテーマを絞り、「A 補助金の適正化」（78補助金を抽出）、「B 公共施設等の適正管理・有効活用に関連する事務事業費」（内部評価の中から関連する44事業費を抽出）、「C 行政サービスの向上」（同6事業費を抽出）から、調査会において10事業費等を選定しました。

(2) 担当課ヒアリング及び評価作業

①事業概要等の説明（10分）

担当課から事業概要の説明を受け、事業の内容、課題・問題点等を把握しました。

②質疑応答（20分）

事業概要の説明や資料から読み取れない部分は、「質問書」によるやりとりや、質疑応答により疑問点等を解消しました。（質疑応答終了後、担当課は退席。）

③評価（30分）

ヒアリングの結果を踏まえ、各事業の今後の方向性等について委員間で議論し、評価を行いました。

4 会議の開催経過

平成30年度八街市行財政調査会の開催日及び主な内容は、以下のとおりです。

平成30年度八街市行財政調査会の会議日程

開催日		主な内容
第1回	平成30年7月3日（火）	・外部評価の進め方とスケジュールについて ・外部評価対象事務事業の選定方法について
第2回	平成30年8月7日（火）	・外部評価対象事務事業の選定
第3回	平成30年10月16日（火）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号1～3）
第4回	平成30年11月13日（火）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号4～6）
第5回	平成31年1月8日（火）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号7～9）
第6回	平成31年2月5日（火）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号10） ・市有地の有効活用に関する意見交換
第7回	平成31年3月11日（月）	・外部評価報告書の提出

5 外部評価の結果

事業の方向性を、「事業継続」「事業廃止・休止」「事業完了」の中から判定しました。

また、「事業継続」と判定した事業費については、さらに「拡充」「現状維持」「見直し・改善」「縮小」の中から判定を行いました。

この結果、以下のとおり、9つの事業費等を「事業継続」で「見直し・改善」、1つの事業費を「事業継続」で「現状維持」と評価しました。

なお、個々の事業費の評価の過程における委員の主な意見、事業の方向性に関するコメントは、P4以降に掲載した「平成30年度外部評価結果（事業費別）」のとおりです。

平成30年度 外部評価結果（概要）

番号	事業費名	担当課	外部評価結果	主な意見等
1	教育支援センター管理運営費	学校教育課	事業継続 - 見直し・改善	P4
2	市議会政務活動費交付金	議会事務局	事業継続 - 見直し・改善	P5
3	グループホーム入居者家賃補助金 /グループホーム運営費補助金	障がい福祉課	事業継続 - 見直し・改善	P6
4	八街市シルバー人材センター補助金	商工観光課	事業継続 - 見直し・改善	P7
5	八街商工会議所補助金	商工観光課	事業継続 - 見直し・改善	P8
6	市観光農業協会補助金 /農業体験ツアー等補助金	商工観光課	事業継続 - 見直し・改善	P9
7	道路整備事業費	道路河川課	事業継続 - 見直し・改善	P10
8	耐震改修費補助金	都市計画課	事業継続 - 見直し・改善	P11
9	浄水器設置費補助金	環境課	事業継続 - 見直し・改善	P12
10	財産管理費	財政課	事業継続 - 現状維持	P13

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番 号	1
事務事業名	教育支援センター管理運営費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校における長期欠席者の割合が高いことを考えると、根本的には対応し切れてないのではないか。 ・ 学校の問題は自分たちの問題と抱え込みすぎていて、スタッフの資質向上とか連携強化ばかりでは、限界がある気がする。担当課でも「多角的な視点を入れてアセスメント」と書いているので、課題には気付いているとは思われる。 ・ スクールソーシャルワーカー（SSW）に力があることはわかったが、頼り過ぎている感じがした。 ・ SSWのように教育だけでなく、福祉・医療側から切り込んでいこうという考えはあるが、それだけでは足りていないのが実状ではないか。専門職を増やすのも重要だが、SNS等を使って、子ども達が相談しやすい場所を作る必要もあるのではないか。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p style="text-align: center;">□ 拡充 □ 現状維持 ■ 見直し・改善 □ 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業廃止・休止</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもや家庭が置かれた状況は色々な実態があると思われ、公的な専門家だけでは対応しきれないのではないか。専門家を増やすのも重要だが、公的な部分以外の繋ぎ、ネットワークを充実させていくことは、検討する必要があると思われる。 ・ 子ども達が相談しやすい窓口を増やしていくような計画を期待する意味で「見直し・改善」とした。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	2
事務事業名	市議会政務活動費交付金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政務活動費は給与とは性質が違うのだから、一般職職員の給与削減に合わせて下げたのは理解しがたい。下げた額で足りるなら、そのまま戻さなくても良かったのではないか、とってしまう。 ・ 議員立法とか政策的なものに期待を込めて政務活動費は出されていると思うが、今のところ件数は伸びていないように見える。 ・ 地方分権以降、自治体独自の政策を作っていくことは相当言われていて、その中で政務活動費のあり方も議論が進んでいると思われる。 ・ 執行部からの提案を承認するだけでなく、独自の議案を出すことも問われてくることを考えると、政務活動費は逆に増やすことも考えられるのではないか。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削って問題ないなら削るべきだし、今後の議会改革の中で、政策立案を増やすという方向性があるって、それに必要な活動費は拡充していかなくてはいけない。 ・ 決まった額を受け取るだけでなく適正な額を精査する必要がある、という意味で「見直し・改善」とした。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番 号	3
事務事業名	グループホーム入居者家賃補助金/グループホーム運営費補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者の積極性に負うところが大きいですが、事業の潜在的な需要はまだまだあるように見える。 ・ グループホームの地域共生に取り組む姿勢は良いと思うので、そういう面を広めていく必要はあると思った。 ・ 資料だけを見ると、協働などの可能性がないとのことだが、実際に聞いてみると柔軟性を持ってやっているように見える。 ・ 協働の動きも始まっているようではあるし、拡充でも良いのかもしれない。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「見直し・改善」としたが、改善を経た拡充を期待する。 ・ 単独事業ではないので、県との関係や補助金を出しているけど介入しきれず事業者任せになっている部分で心配がある。今後、地域への浸透を考えると、市が橋渡しをしていく必要があるし、障害者自立支援協議会も内向きになってしまう可能性もあるので、もっと巻き込みを図った取組みができるかどうか。地域で障がい者を支援する機運を高める、協働の裾野を開くことが問われてくるので、色々な手法を調査検討しながら、拡充を目指していただきたい。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	4
事務事業名	八街市シルバー人材センター補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度外部評価で「シルバー人材センターの自助努力を市として促していく」とのことだったが、センター内部でどのような検討がなされて、市に依存しないような取組みがなされたのか見えてこない。 ・ 市としての目的が高齢者の就業安定や生きがい・健康づくりであれば、センター以外でも色々行われているので、連動させながら支援する必要がある。センターありき、補助金ありきになると、どうしても毎年同じ補助金が続いてしまうし、目的がどれくらい充実させられているか見えてこない。 ・ センターでチラシを配ったり推進員が仕事を取ってきていることなど努力されていることはわかったが、それだけだと平面的というか、継続的に仕事を取る工夫が足りない気がする。 ・ この形で補助金を出すことによってどのくらい成果を出せるのか。今のやり方や体制で、もっと仕事を探す、仕事を作ることは難しいのではないか。 ・ 補助金のベースを下げて、仕事の量などでインセンティブを与えるような取組みも良いかもしれない。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根本的な運営体制見直しを図っていただくことを条件に「見直し・改善」とした。 ・ 前例踏襲的な考え方が色濃くみられるので、抜本的な見直しが必要。この体制で補助を続けるのは限界があると言わざるを得ない。 ・ 高齢者の就業安定や生きがいづくり・健康づくりを進めるなら、センター以外にも場があるので、センターと連動させながら環境を作ることも検討していただきたい。商工観光課の事業だが、目的から言えば高齢者福祉担当との連携も必要。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	5
事務事業名	八街商工会議所補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の指摘事項に対する対応方針が実行できていない。話し合っているのか心配ではある。 ・ 前例踏襲的な補助金で、成果指標が全くないことが致命的。もらった補助金をこのように使いました、というだけだと、質を問うことに繋がっていかない。 ・ 成果評価もそうだし、毎年出しているからというわけではなく、事前に、次年度はどういう目的でどういう成果を目指すという目標があって、その結果に対して補助金を出していく形式の事前評価も検討するべきではないか。
事業の方向性	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業完了 </p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度も指摘したが、事業内容や質を問えるように成果指標を捉えていく視点で補助金を見ていかないと変わらず進んでしまうので、成果指標を問えるようなフレームを整えていただくのは必須条件ではないか。 ・ 本調査会としては、今後どういう形で臨むのか、改善案を出していただくことを、補助金を出していく上での条件として「見直し・改善」とした。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	6
事務事業名	市観光農業協会補助金/農業体験ツアー一等補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の最終目的とか着地点が見えないという印象。ツアーを組んで多くの方に来てもらうだけが目的なら、目的達成したらそこで補助金廃止という考え方もある。 ・ 観光農業は一朝一夕にできることではないので、中長期的な視点が欲しいところ。段階的に、今どういうステップにいるのか明確にしていかないと、良い動きが個々で出てきているのに、縮小しかねない心配はある。 ・ 観光農業は手段だと思うので、きっかけと仕組みさえ作れば回っていく気がしないでもない。うまく回るまで、もう少し補助を続けても良いかと思う。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期的な方向性の立て方次第ではもっと補助しても良いが、それが見えない中で「現状維持」や「拡充」はあり得ないので「見直し・改善」とした。 ・ 補助対象が特定の団体だと内向きになってしまいがち。プロも揃っているし、努力もされていると思われるが、今後の事業の広がりにつながっていかねば、補助金を出し続ける意味が形骸化しかねない。自己完結的に捉えるのではなく、事業全体のあり方を考えないと、補助対象の団体ありきになってしまう恐れがある。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	7
事務事業名	道路整備事業費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きい道路だけでなく、細かい工事もしなければいけないので、担当課としては拡充したいのは理解できる。 ・ バイパスが通ったことで、大きな輸送トラックも多く通るようになり、道路の傷みがひどい。さらに住民としてはもっと歩きやすい安全な道を作ってもらいたい要望もあるので、是非、担当課には良いプランを作ってもらって、国からの交付金を多く受け取る方向でないと、市の財政的に拡充は難しいと思われる。
事業の方向性	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業完了 </p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実上は「拡充」を期待しながら、「見直し・改善」とした。 ・ 財源を考えると、市としてどこに投資するのが効率的なのか、国県にどういうことを求めるのか、そのためにどのようなプランを立てて方向性を提示するのか。トータルでの計画を改めて考える必要があると思われる。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番号	8
事務事業名	耐震改修費補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近では耐震関係で色々な情報が氾濫しているので、公的機関による周知は重要と思うし、実績を上げるためにも広報活動は必要。 ・ 固定資産税の納税通知書に注意喚起チラシを同封するとか、団地などで建築時期が集中しているところを重点的に広報活動するとか、改善の余地はあるかと思われる。 ・ 工事となると自己負担もあるので、所有者の理解が得られず、なかなか進まないジレンマはあると思う。法律で義務付けられないと難しいところではある。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度が積極的に活用されるような方向に「見直し・改善」を図っていただきたい。 ・ 基本的には、更なる制度活用の促進を図っていくしかないと思われる。自己所有物件と言っても、災害時には地域住民に迷惑がかかることになるかもしれないことも含めて、積極的に耐震を普及していく取組みが弱いように見える。所有者の自己判断にはなるが、お金の問題も含めてトータルにイメージできるような普及促進が必要ではないか。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番 号	9
事務事業名	浄水器設置費補助金
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 補助金とは直接関係ないが、同じ事業費で実施している水質の定点調査について、結果を整理・分析する部分が弱い。調べたことをしっかり公表すべきだと思う。 この補助金だけで見れば、要望があれば対応するだけなので「現状維持」という考え方もある。 アンケートの結果とか、データ化した数値を見るべきではないか。定点調査の要望などもデータで把握していないところは問題だと思う。 浄水器を導入するときに補助するのはわかるが、繰り返し補助するのはどうなのか。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> 大きな枠組みを見直すという話ではないが、上限額の基準及び再申請のあり方が妥当かどうか、検討する必要があると思われるため「見直し・改善」とした。 可能な限り、関連情報は積極的に発信することを、あらためて検討していただきたい。

平成30年度外部評価結果（事業費別）

番 号	10
事務事業名	財産管理費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の公民館等について、土地は市が貸して、建物は払い下げする方向性を打ち出すべきではないか。 ・ 過去の補助金などの経緯により、現在のような形式になっていると思われるが、政策転換してもよいのではないか。市で何でも保有していると、今後、管理しきれなくなると思われる。 ・ 土地は資産という感覚があり、有効活用するのは頭ではわかるが、売り払ってしまって、将来大丈夫かという心配もある。
事業の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財産活用専門部署の立ち上げという方向性を打ち出しているので「現状維持」とした。基本的には、どこの自治体も同じように、積極的な資産活用という方向になると思われる。